

喘息・鼻炎治療後の全身症状を経て半袖で過ごせるようになった成人アトピーの経過 (45 歳 成人)

症例 ID：001-40-TMt | 記録日：不明

1. 診断・治療前経過

長年にわたり春と秋のくしゃみ・鼻水に悩み、ある春には突然の呼吸困難で「花粉喘息」と診断され、内服薬と注射による治療を受けました。薬の服用中に手の震えもみられました。

受診後、呼吸症状と鼻症状は軽減しましたが、その後、肩の湿疹から全身へ皮膚症状が広がりました。

2. ステロイド使用歴

項目	内容
使用内容	喘息・鼻炎の治療で注射と内服薬を使用しました。皮膚症状に対する外用歴は不明です。
製品名	不明です。
強度	不明です。
使用期間	不明です。
中止時期	松本医院受診前に中止したと考えられますが、詳細は不明です。
来院前／後	来院前に使用歴があります。来院後の使用は不明です。

3. 治療開始後の経過（リバウンドを含む）

時期	治療開始から	経過
受診前	喘息・鼻炎治療	季節性の鼻症状と呼吸困難に対し、内服薬と注射を使用しました。
治療開始 1 週間	呼吸症状の変化	呼吸が楽になりました。
治療約 6 か月	鼻・呼吸症状の変化	喘息発作と花粉症状がみられなくなりました。
平成 7 年 5 月	皮膚症状出現	肩にかゆみと発疹が出ました。
同年 10 月頃	全身症状	皮膚症状が全身へ広がりました。
その後約 3 か月	強い症状	夜間も眠れないかゆみと痛みが続き、寝具に血が付く状態となりました。
経過後	生活変化	皮膚状態が整い、スカートや半袖で過ごせるようになりました。

4. ピーク時期

ピークは、全身の強いかゆみと痛みで夜間の睡眠が妨げられ、掻破により寝具に血が付いた時期です。

5. 困りごと

- ・夜間のかゆみと痛みで眠れない日が続きました。
- ・全身症状により衣服の選択や外出が制限されました。

6. 経過のまとめ

喘息・鼻症状の軽減後に全身の皮膚症状が強くなりましたが、治療経過の中で皮膚状態が整い、半袖やスカートで外出できる生活へ戻りました。その後は通院を終了されています。

本ページは、患者さんの経過を時系列で整理したものです。
症状や経過には個人差があり、同様の経過や結果を保証するものではありません。